

劇団文化座公演

しゃぼん玉

[原作] 乃南アサ『しゃぼん玉』(新潮文庫刊)

[作] 齊藤祐一 [演出] 西川信廣

出演

佐々木愛
津田二郎
青木和宣
藤原章寛
小川沙織
他

俺はただ、生きてるだけのしゃぼん玉だ……。
どこかに着地しようとするれば割れちまう、
誰かに触れれば壊れて消えてしまおう、しゃぼん玉……



題字/本橋桂園

2021年/第319回 旭川市民劇場2月例会

2月23日(火)祝 6:30

24日(水) 1:00

会場/旭川市民文化会館大ホール

上演時間

2時間
30分
(休憩15分含む)

入会のご案内

入会金	2,000円
会費(月)	一般 2,500円
	大学生 1,000円
	中高生 500円

会員になると年6回の演劇を鑑賞できます。詳しくは事務局まで。

次例会のご案内

4月例会 『ドレッサー』
加藤健一事務所
作/ロナルド・ハーウッド 出演/加藤健一ほか
4月19日(月) 6:30
20日(火) 1:30
会場/旭川市民文化会館大ホール

旭川市民劇場 旭川市3条通8丁目 緑橋ビル1号館2F TEL0166-23-1655

劇団文化座公演

しゃぼん玉

原作◎乃南アサ『しゃぼん玉』
(新潮文庫刊)
作◎斉藤祐一
演出◎西川信廣

STORY

幼い頃から肉親の愛情に恵まれず、周りに誰一人頼る者もない孤独な青年・伊豆見翔人(藤原章寛)は、アパートも追われ、生きるために見知らぬ町でひたたくりや強盗傷害事件を起こしては、ヒッチハイクの逃亡生活を続けていた。「坊っ……、坊っ……」ある日、

彼は山中で怪我を負ってうずくまる老女スマ(佐々木愛)と出逢う……。そして、平家の落人伝説がまことしやかに語り継がれる、宮崎県の辺境・椎葉村の小さな二軒家で、翔人とスマの奇妙な共同生活が始まったのだった……。

藤原章寛

CAST

佐々木愛 津田二郎 青木和宣
高村尚枝 小谷佳加 高橋美沙
瀧澤まどか 藤原章寛 兼元菜見子
小川沙織 田中孝征

STAFF

美術:乗峯雅寛 照明:塚本悟
音響:齋藤美佐男 音楽:上田亨
衣裳:岸井克己 擬斗:渥美博
舞台監督:鳴海宏明 制作:中山博実

◎初演舞台感想より抜粋

思春期の挫折のなかで犯罪へと至った(非行のある少年)の背景には、家族崩壊などともなう(要保護性)と呼ばれる深刻な問題が伏在します。そのような(非行のある少年)の(要保護性)を軽減し解消するためには、『しゃぼん玉』のような大自然、労働と収穫の喜び、よく食べよく眠る生活、とりわけスマ婆、シゲ爺と翔人のような人間的な交流(疑似的な家族)が必要であり、それが(非行のある少年)の立ち直り支援にきわめて有効であることが実証されていますが、成人後に(犯罪を繰り返す若年成人)に対してはどのようなのでしょうか?

『しゃぼん玉』は、それに対する一つの答えを示しています。

若穂井透(弁護士)



(中)高村尚枝 (右)瀧澤まどか



佐々木愛



小川沙織



津田二郎

舞台写真:坂本正郁

すべてを包み込むようなおらかな老婆スマを演じた佐々木愛、そして若者特有の心の内面を繊細に表現した藤原、小川の清新な演技が心に残る。演劇には人々を励ましたり、勇気づけたりする役割がある。

昨今の殺伐とした世相の中、その“演劇の力”を示した舞台だった。

山田勝仁(演劇ジャーナリスト)